

---

# 泣くなった日々

嘩月ーka「d/z」ukiー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

泣くなつた日々

### 【Nコード】

N8161J

### 【作者名】

嘩月ーk a「d／z」u k iー

### 【あらすじ】

ー  
ー  
ー  
ー  
ー  
ー  
ー

涙を流したのは いっだったか忘れてしまった  
我慢する事を覚えた 強がりな涙腺は綴じる  
泣く事で何かを失ってしまう気がして 恐かった

泣くの言葉が 染み付いて離れない  
記憶は今を作り出していたの

浴槽に黙って静かに沈んで

どうしてだろ 泣く事が怖いと思う様になったのは  
失ってしまうから？  
疑問符が止まらない

泣いてしまう事で 手に在る全てが落ちてしまう気がする  
あの淋しい時は  
そう 私泣いてたから……

失った貴方 何処に居るの  
会われなくて  
隣れ 泣いて  
淋しいあの時 いつの日なのかも……

どうしてだろ 失うのが怖いと思う様になったのは  
強くなったから？

失った貴方の姿が滲む

だけど

泣いてしまう事で 手に在る全てが落ちてしまう気がする

あの淋しい時は

そう 私泣いてたから……

「もう泣かないよ」

涙の意味を忘れた頃に 届いた手紙 そっと机の奥に  
開いた手紙は貴方からで…

『僕は後少しで居なくなるだろう。けど、泣かないでなんて言わな  
いよ。泣いて、忘れて。きっと弱い君の事だから涙が嫌いになると  
思うから。だから、泣いて忘れてくれ。

最後に。

愛してた。

好きでいてくれて、ありがとう。』

濡れてゆく手紙 力の入る手でシワが入って  
優しい貴方の言葉に触れて 泣いてしまった

滲む景色

少し恐いから 水のせいにしてしまおう  
駆け込んだ浴槽 声が零れた

涙の意味を 忘れてしまっていた日々は何故  
恐かったから？

そうだよ恐かったの

そして

泣いてしまう事で 失ってしまうのは本当の事だけど

あの淋しい時は

そう 私泣いてたけど

それは

ただ悔しくて 失うのが悲しくて憎くてたまらない

その感情を消す為で

失くしてしまう訳じゃない

だから

泣いてしまう事で 心に在る全てを一度流して

この淋しい時は

「ねえ 私泣いててもいいよね……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8161j/>

---

泣くなった日々

2010年12月20日02時37分発行